

エントリーNo.1



ロゴマーク



マークデザイン全体像

ロゴのコンセプト

ティアラ（姫愛）11歳。7つの白い羽飾りは希望、王冠のサファイアは愛を現し、自由を求める人に力強い翼を与えてくれる天使です。髪飾りのティアラをみにつけ、希望と愛を実現するために地元の人々とふれあいながら活躍する地域おこし協力隊。ティアラは、その夢と希望を象徴しています。

ロゴへの想い

ティアラは自由に空を飛べる翼をもち、希望の星たちまで洋服にデザインしています。特徴的なのは宇宙からの訪問者らしく眉をもっていません。何でも思ったことが実現する可能性を秘めていて、その希望を実現するために自分の住み慣れた星を離れて舞い降りてきます。まさに地域おこし協力隊の姿と願いそのもの。ほとんどの隊員の夢は地元の人々に卒業までに何を残すことができるか。その崇高な願いを、どんな辛い時も共有してくれる存在。それがティアラなのです。

エントリーNo.2



ロゴマーク2案

ロゴのコンセプト	『どさんち』とは道産子地域おこし協力隊の短縮形であり、純朴な北海道民の心意気を受け継ぐ愛称。北海道産のおいしい地域食材の略称にもなるので、今後地元のおいしさをPRする言葉としても定着する予感。シマエナガのデザインを添えて、かわいいを売りにする願いも込めています。
ロゴへの想い	ぬいぐるみとしても人気が高いシマエナガ。その愛らしさを道産子地域おこし協力隊のシンボルとし、加えてヤマボウシの花もあしらえました。その花言葉は、友情、静かな強さ、感謝。大切な人との絆を深める贈り物という意味もあり、地域おこし活動のために来道する隊員たちにエールを贈るという意味がこめられています。

エントリーNo.3



①

エントリーNo.4



②

エントリーNo.5



③

ロゴのコンセプト

①と③に関しては北海道らしさを出して、北海道の魅力を見てくれる人にロゴで表現できたらと思い作りました。②に関しては地域おこし協力隊の人数が圧倒的に多い北海道なので、道内どうしで争うわけでなく、全自治体で手を取り合ってみんなで北海道を盛り上げましょうという意味を込めました。

ロゴへの想い

私自身も九州から北海道と真逆の地域から移住をして今まで知らなかった文化や北海道の土地を少しづつ学んでいるところです。知らない場所に足を運ぶことは不安もあると思いますが、個人的にはすごくワクワクします。その一つとして北海道を選んでいただけ幸いです。冬の暮らし大変だと思って住むのをためらう方もいらっしゃいますが、暮らしの中にも魅力はたくさん眠っています。ぜひロゴを通じて、北海道の良さをさらに知つてもらい、一緒に北海道を盛り上げたらと願っています。

エントリーNo.6



ロゴのコンセプト	マーク全体では北海道の「北」と、人と人が手を取り合う姿で「協力」や「ネットワーク」を表現。分解して見ると、「協力隊」という文字の中にある4つの「力」が点と線でつながることで形が成り立っている。協力隊のもつ力、それを繋げること、また他機関の力と繋ぐことも含め「ネットワーク」を表現した。4つの力の配色は北海道地域おこし協力隊ロゴとリンクさせ、関連性を示すとともに、全道各地の協力隊を繋ぐ意味もこめた。全体に親しみやすくも信頼感のあるロゴに。
ロゴへの想い	全道NWへの期待を込め、決意表明になるロゴを考えました。そのうえで、利用しやすい親しみやすさと安心して任せられる信頼感、長く使用していく普遍性をもたせました。名称が長いのでマークだけでもわかりやすいよう意識しました

(別紙) 北海道地域おこし協力隊ネットワークロゴマークデザイン応募作品一覧

エントリーNo.7



北海道
地域おこし協力隊
ネットワーク
HOKKAIDO
LOCAL VITALIZATION
COOPERATOR
NETWORK



北海道
地域おこし協力隊
ネットワーク
HOKKAIDO
LOCAL VITALIZATION
COOPERATOR
NETWORK

エントリーNo.8

HOKKAIDO



LOCAL
VITALIZATION
COOPERATOR
NETWORK

北海道 地域おこし協力隊 ネットワーク

ロゴのコンセプト

「ネットワーク」「つながり」をテーマに、人と人が関係を結びながら繋がって広がる様子を表現しました。それぞれの個性、多様性を尊重しながら輪に入り、固定された形にとどまらない、開かれたネットワークをイメージしています。

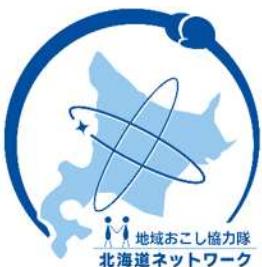
ロゴへの想い

なるべくシンプルに、落ち着いた色合いに。シンボルマーク部分はあえて手書きにしました。均一ではないズレのある線は、計画通りではない出会いや偶然の連なり、人の温度を表現しています。

エントリーNo.9



オリジナルカラー版



青濃淡版



黒濃淡版

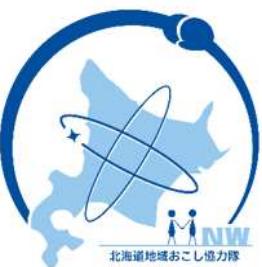


白黒版

エントリーNo.10



ロゴのコンセプト



北海道地域おこし協力隊



北海道地域おこし協力隊



北海道地域おこし協力隊

「交わり、つながる」

地域おこし協力隊は世代や専門分野、バックグラウンドもさまざまです。だからこそ、個々人がもつ知識や経験、技術、想いを共有することで、互いに支え合うことができるのだと感じています。本ロゴでは、そうした「知・経験・技・想」の交わりを、交差する二つの軌道で表現しました。また、北海道を囲むようにつながれた手は、隊員同士の支え合いを象徴しています。

ロゴ案は2種類あります。

異なる点は右下の文字構成です。

ロゴ案2では、「ネットワーク」を「NW」と表記することで、よりすっきりとした印象にしています。

本ロゴは、4つのカラーバリエーションを展開しています。

・オリジナルカラー

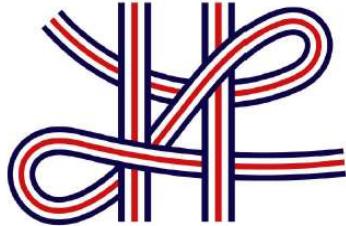
緑は北海道の豊かな大地を、橙は互いを思い合う温かさを表しています。

次頁へつづく

(別紙) 北海道地域おこし協力隊ネットワークロゴマークデザイン応募作品一覧

	<p>・青濃淡版 ↳ 冬の時期のポスターなどにもなじむよう、落ち着いた色味を採用しています。 ↳ ↳ ・黒濃淡版・白黒版： ↳ モノクロ印刷やワンカラーでの使用にも対応できるようなデザインとしています。 ↳</p>
ロゴへの想い ↳	私事ではありますが、あと数か月で地域おこし協力隊の任期を終えます。あっという間に過ぎた3年間は、地域の行政や住民の方々に支えられてきました。それと同時に、同じ北海道の地で活動している隊員の存在が、自分を奮い立てる力にもなっていました。実際にお会いできた隊員はそれほど多くはありませんでしたが、何人かの隊員とはSNS上でつながり、互いの活動を共有しています。直接会えなくとも、何らかの形でつながることで安心感を得られ、他隊員の発信が自身の活動のヒントとなることもありました。北海道地域おこし協力隊ネットワークが、今後も隊員同士のつながりを支え、発信の場として活用されることを願っています。本ロゴがその維持・発展の一助となれば幸いです。 ↳

エントリーNo.11



北海道地域おこし協力隊ネットワーク

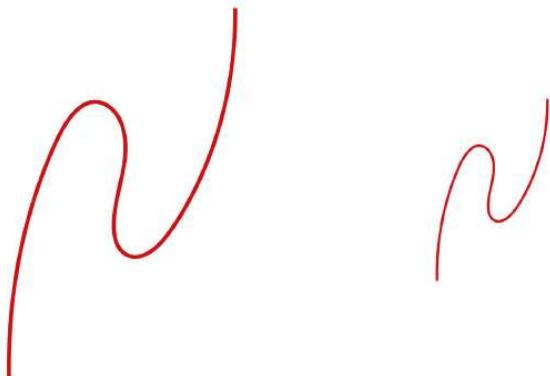
ロゴのコンセプト

「北」の文字を水引で表現。HokkaidoのHが中央に浮かぶように設計しました。ネットワークから繋がる・糸・結びを連想し縁起の良い水引に辿り着きました。さらに北海道旗のカラーを意識し北海道らしさを際立たせました。

ロゴへの想い

どんな印刷環境でも一定のクオリティが保てるよう色数を抑えました。その中でも名刺など小さな印刷でも潰れず、印象に残るよう、赤を差し色で使用。縦線は少し太めにすることで安定感を演出しています。北海道地域おこし協力隊のロゴがポップで親しみやすさを感じられるので、こちらは「落ち着き」や「信頼」というワードを重視し双方のバランスを保ちたいと考えました。

エントリーNo.12



北海道地域おこし協力隊ネットワーク

ロゴのコンセプト	「つながり」から赤い糸をコンセプトに上下で手を取り合うシーンを表現しました。またネットワークのNにも見えるよう調整し複数の意味を掛け合わせました。テキストとマークで北海道旗のカラーリングをモチーフにし、北海道らしさを意識しました。
ロゴへの想い	印刷環境に左右されず、誰もが書きやすいロゴをテーマにしました。シンプルだからこそどんな意味が込められているのか考え、気づいて欲しいと思っています。

エントリーNo.13



北海道地域おこし協力隊ネットワーク

ロゴのコンセプト	北海道地域おこし協力隊の既存のロゴカラーを基調に、【北海道4エリアの人と人をつなぐ縁】をコンセプトとしました。4つの地域の人々が横につながる姿を人型で表現し、地域間の交流や連携が広がっていく様子をイメージしています。
ロゴへの想い	このロゴを見た人に、既存の北海道地域おこし協力隊とのつながりを感じていただきながら、道内の地域おこし協力隊が地域を越えて助け合い、支え合って活動している様子が伝わればという想いを込めました。

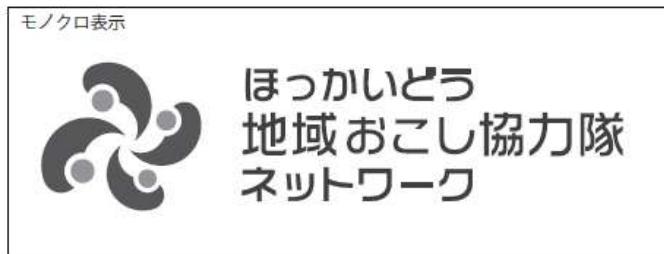
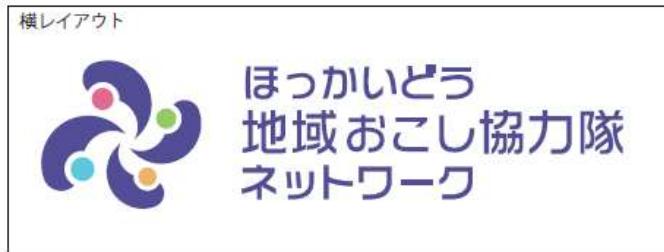
エントリーNo.14



単体使用

ロゴのコンセプト	「北海道を愛する人」 北海道の「道」を「LOVE」で表現しました。 また、Oで囲うことで、愛を持った人たちがネットワークを通じて「（北海）道」を作っていくことを表現しています。 色は北海道を連想させるものを中心に配色しました。 L：豊かな自然の緑色 O：海の水色 V：愛のピンク色 E：広大な大地の茶色 横の文字には、文字のイメージに合った色をちりばめました。
ロゴへの想い	北海道地域おこし協力隊は、北海道に憧れ、北海道を好きになって移住してきた人が多いと思い、このコンセプトにしました。普段は散らばっている協力隊が、ロゴを見て北海道と一緒に盛り上げる仲間がいるという、ネットワークの存在を感じてもらえると嬉しいです。

エントリーNo.15



ロゴのコンセプト	北海道内の地域おこし協力隊が地域を越えて手を取り合い、ノウハウや情報を共有するネットワークの姿を抽象化したロゴです。 個々の活動が結びつくことで北海道全体の力となり、信頼性・発展性・統一感を備えた共通ビジュアルとして機能すること、なおかつ既存の北海道地域おこし協力隊のロゴと統一感を持たせることをコンセプトにデザインしました。
ロゴへの想い	このロゴには、北海道各地で活動する地域おこし協力隊のつながりと、支え合いの気持ちを込めています。それぞれの形は道内の4つの地域を表し、互いに手を取り合うように組み合わさっています。一つひとつは小さな存在でも、つながることで大きな力となり、北海道全体の未来を形作っていく。そんな願いを込めました。 また、全体のフォルムは北海道のシルエットを思わせる形に設計しています。 これは、「地域の力が集まって、北海道というひとつのかたちをつくる」という想いの象徴です。

エントリーNo.16



北海道
地域おこし協力隊ネットワーク

ロゴのコンセプト	道内外で使用することを想定し、一目で北海道の団体であることがわかるよう、北海道地図を中心に取り入れています。北海道章にも使用されている七稜星をモチーフとし、全14本の線を14管内に見立て、カラーで表現しています。北海道地図を囲う七稜星は、地域おこし協力隊を表現しています。道内外から、それぞれの特技や技術を持ち北海道に集まった隊員が、ミッションや活動を通して北海道をより彩り豊かに発展への一助になること、また地域での輪が繋がることと、輪が広がっていく様子を表現しています。
ロゴへの想い	地域おこし協力隊員が、それぞれのミッションや活動を通して自身の輝きと、北海道の発展に貢献していくことへの一助になるよう願いを込めています。